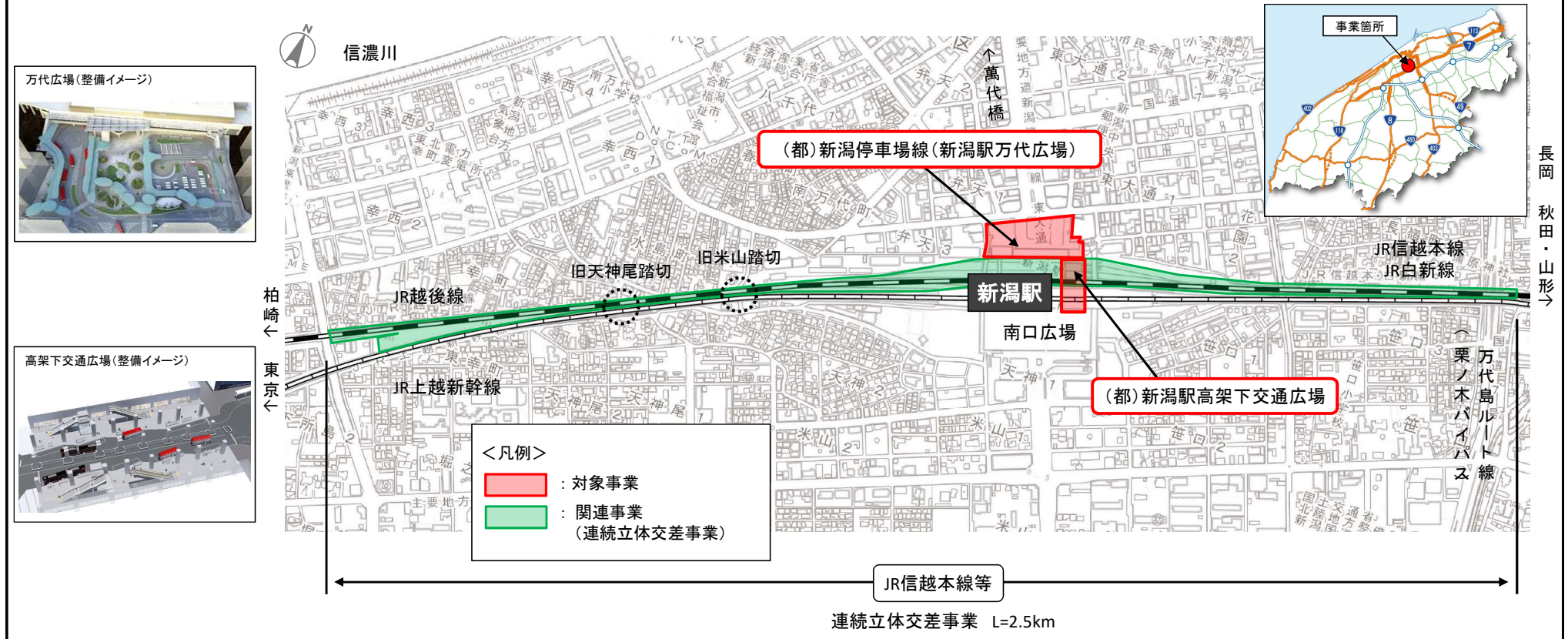


【事後評価】 「新潟駅の拠点性向上（拠点駅アクセスの向上）」の成果概要

計画の概要	計画の成果指標(定量的指標)					
	成果目標	定量的評価指標	現況値	中間値	目標値	実績値
◎計画期間： 平成30年度～令和4年度（5年間） ◎計画の目標： ◇ 鉄道で分断されている南北市街地の一体的利用を促進する。 ◇ 公共交通の充実により交通の円滑化を図り、交流・連携を強化する。 ◇ 都市基盤整備を行い都市機能を強化することで、新潟駅の拠点性向上を図る。 ◎総事業費：約98.8億円	① 公共交通利用者数を 100,984 人/日（H30）から 103,600 人/日（H34）に増加させる。	① 公共交通利用者数 新潟駅における1日あたりの、 鉄道とバスの平均乗降客数（人/日）	100,984 人/日	—	103,600 人/日	69,644 人/日
	② 乗り換えによる歩行者損失を 22.2 億円/年（H30）から 19.1 億円/年（H34）に減少させる。	② 乗り換えによる歩行者損失 新潟駅における1年あたりの、 鉄道とバスの乗り換えによる歩行者損失 （億円/年）	22.2 億円/年	—	19.1 億円/年	21.3 億円/年



今後の方針等

- ・ 鉄道で分断されている南北市街地の一体的利用を促進するとともに、公共交通の充実により交通の円滑化を図り、交流・連携を強化するため、今後も引き続き、万代広場及び高架下交通広場の整備を着実に進める。
- ・ 新潟の陸の玄関口である新潟駅の駅前広場といった都市基盤の整備を着実に進めることで、都市機能を強化するとともに、新たな賑わいを創出することにより、新潟駅のさらなる拠点性向上を図る。